

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|-------|---------|-------|--------|------|-------|--------|-----|
| 年度 | 16 | 部局 | 課所室 | 担当(係) | 作成者(職) | (氏名) | (連絡先) | 棚卸表コード | No. |
| 作成日 | 16.07.14 | 企画調整部 | 男女共生政策室 | | - | - | - | 2企男01 | 10 |

| 業務名称 | 男女共生推進事業 | 成果指標 | 実績(H15) | 目標(H17) | 人工数(人) | 予算(千円) |
|--------|--|----------------------|---------|---------|--------|--------|
| 上位目的 | 一人ひとりの個性が尊重され、誰もがいきいきと生活することができる男女共生社会を実現する。 | 男女の地位の平等感意識割合(各分野平均) | 25.5% | 30% | | |
| 担当業務目的 | 男女共生社会の実現をめざすため、意識の啓発活動や人材養成を市民と協働で推進する。 | 男女共生推進事業への市民の延べ参加者数 | 2,453人 | 2,668人 | 4.00人 | 6,876 |

| 活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル)) | | | | 事業費(千円) | 備考欄 |
|-----------------------------|---|---------|---------|---------|--|
| 活動における指標 | | 実績(H15) | 目標(H17) | | |
| 担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル) | | | | | |
| 01 | 男女共生社会実現に向けた政策の決定と推進 | | | 420 | (1) 男女共生推進会議(企画運営部門)の開催 ・男女共生事業の方向性や事業進捗を確認。(年2回開催) ・教育分野への働きかけや、企業への啓発活動のあり方が今後の検討課題。 ・行動計画の18年度改訂にあたり、市民の男女共生意識の変遷をみる意識調査が必要。(17年度) (2) 市民行動計画の進捗調査 ・平成13年度策定の市民行動計画について、事業の進捗状況調査を今年度末に実施予定。 ・調査方法は現在検討中。 |
| | 審議会等の女性委員比率 | 28% | 30% | | |
| | 秋田市男女共生推進会議の推進 市民行動計画の策定により各施策の方向性を明確にする 総合計画の各施策に横断的反映を促す 男女共生意識の調査 行政内部の調整機能を持つ | | | | |
| 02 | 市民への情報提供と広報活動 | | | - | (3) 情報提供 ・情報誌(UmだすかUmだども)、ライフデザイン、リーフレットを学習会や出張講座などで配布。 ・「広報あきた」に随時記事を掲載。 ・テレビやラジオ番組を利用。 ・ホームページを更新。 |
| | 男女平等意識率(家庭生活では平等) | 21% | 30% | | |
| | 情報誌等を市民に提供 広報媒体を利用した情報提供 | | | | |
| 03 | 男女共生意識の啓発活動の促進 | | | 4,624 | (4) 啓発資料の作成 ・男女共生の基礎編として出張講座等で利用し、広く市民への意識啓発を図るための資料。 ・公募編集委員4名と事務局との協働で、今年度中の作成に向けて作業中。 (5) 男女フォーラムの開催 ・公募実行委員7名と事務局との協働で企画運営する。 ・16年11月13日(土)文化会館全館を利用して開催予定。 (6) 教育分野への啓発 ・教職員意識調査の分析結果を踏まえ、次年度以降の新たな施策を検討。(現在分析中) (7) 参画週間事業 ・各図書館とサンバル、本庁の5ヶ所でパネル展示を実施。(6月21日～6月30日) ・「広報あきた」1面を使い、男女共生についての記事掲載。 |
| | 性別役割分業意識率(男は仕事、女は家庭と思わない) | 46% | 60% | | |
| | 啓発資料の作成 男女フォーラムの開催 教育分野への啓発 参画週間で資料展示 | | | | |

| 活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル)) | | | 事業費 (千円) | 備考欄 |
|---|---------|---------|-------------|--|
| 活動における指標 | 実績(H15) | 目標(H17) | | |
| 担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル) | | | | |
| 04 男女共生意識の醸成をはかり、推進するための人材養成 | | | 341 | (8) 女性のための行政学習会 ・参加者が自ら選んだテーマについて、グループ討議を中心とした講座を8回実施。 ・参加者が年々減少傾向にあり、今後の事業のあり方について検討を要する。 (9) 出張講座の開催 ・依頼者の要望に添った内容で講師を派遣し開催。 ・今年度作成予定の啓発資料を利用した、講座体系の確立について今後検討。 (10) 女性委員の比率調査と登用促進 ・審議会等における女性委員の登用調査を年1回実施 ・各分野で活躍する女性を登録し、審議会委員等への登用を促す。(16.4.1現在 228人) (11) 職員研修 ・新規採用、中堅、全職員を対象とした研修を実施しているが、管理職への研修についても今後検討。 (12) 男女共生研修会の開催 ・男女共生を推進するための専門研修であり、市民や職員を対象とする。 |
| 学習会、講座参加者総数/年 | 230人 | 282人 | | |
| 女性のエンパワーメント向上のための人材養成 男女共生意識の向上のための出張講座の開催 女性委員の比率調査と登用促進 男女共生を推進するための職員及び市民研修 | | | | |
| 05 活動推進のための連携と協働 | | | - | (13) 市民団体との連携と協働 ・市民と行政の情報交換と連携、協働を目指すため、個人や団体の情報を集約したリスト作成について検討中。 |
| 市民団体、行政総連携回数/年 | 123回 | 134回 | | |
| 市民(女性)団体との連携と協働 行政機関との連携 | | | | |
| 99 庶務経理業務(室管理経費) | | | 1,491 | |
| 適正処理 | | | | |